

田面木沼・市柳沼観光漁業開発調査

頼 茂・長 峰 良典・林 義 孝

田面木沼・市柳沼観光漁業開発調査報告書（昭和56年8月）

漁業実態調査，環境調査等を実施し，開発の可能性を検討した。

環境条件から見ると，両沼とも中栄養湖に属しているが，田面木沼は上流から流入する栄養物質が多く，底質は富栄養化の傾向を見せている。市柳沼は夏期アオコが一面に発生し，富栄養化しているように見られるが，水質底質分析の結果では，田面木沼より貧栄養的である。多獲魚種は田面木沼がワカサギ・ゲンゴロウブナ，市柳沼はワカサギ・コイである。コイの食性から見て，市柳沼は上層から底層まで利用されているが，田面木沼は上層と中層しか利用されていない。しかし田面木沼の底層を活用する方法は非常にむづかしいため，現状の湖沼条件のまま田面木沼はワカサギ，ゲンゴロウブナ，市柳沼はワカサギ，コイに重点を置くのが適当と考えられる。

このほかゲンゴロウブナより釣り易いといわれている，カワチブナの導入も考えられる。